

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0484	企業立地促進経費					01	07	01	02	331	51
	事業名	0484	企業立地促進経費	所属	160500	産業振興部商工労働課	連絡先(記入者) 西岡 裕崇 43 - 2306					
基本施策	47	企業誘致により雇用の場を増やす										

概要	事業概要	住民の就業機会の増加及び税収増の為、企業の誘致を推進する。						事業期間								
								平成	16	年度	～	平成	年度			
	根拠法令・要綱等	伊賀市工場誘致条例			審議会・委員会等											
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		1	2				
	対象(誰を、何を)	市内外を含む伊賀市にとって有益な企業				※対象件数		単位	社	H23実績	1	H24実績	2	H25見込	0	H26目標値
成果(どうする)	立地予定企業の早期操業を促し税収増を図り、住民の就業機会の増加につながる。															
H24実施内容	立地奨励金の交付企業が7件、用地取得助成金の交付企業が10件、雇用促進奨励金の交付企業が4件であった。また、平成24年度には今後奨励措置をすべき増資をした企業が2社あった。															

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	工場立地法による特定工場の新規・増設届出数	件	目標 2.0 実績 1.0	目標 2.0 実績 5.0	2.0		2.0	
成果指標	奨励金交付対象企業数	社	目標 13.0 実績 16.0	目標 12.0 実績 11.0	12.0		12.0		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	企業立地促進事業	183,694	165,560	221,955	207,730	205,353	122,402	34,644		
	その他事務経費									
		小計(B)	183,694	165,560	221,955	207,730	205,353	122,402	34,644	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費	正規職員	人数 2.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	
		人件費	11,364	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	
臨時・嘱託・再雇用職員		人数 0.0人	0.0人							
	小計(C)	11,364	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777		
	合計(D=(B+C))	195,058	171,337	227,732	213,507	211,130	128,179	40,421	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	195,058	171,337	227,732	213,507	211,130	128,179	40,421		
	※前年度比	—	△ 23,721	56,395	△ 14,225	△ 2,377	△ 82,951	△ 87,758		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	基本施策の目的を実現するために、現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策への貢献度も高い。	(概ね)順調	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
	委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)
	※委託内容及び委託先の存在		
昨年度記載した改善策	企業に対し、早期の操業を働きかけるとともに、2次投資に向け引き続き立地企業に対し支援する必要がある。また、民間工業団地や工場跡地についても引き続き情報提供を行っていく。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。  未操業の企業に対し、早期の操業を働きかけた。また、既立地の企業に対しても2次投資に向け支援を行った。
現時点における課題及び課題に対する改善策	ゆめぼりす伊賀クリエイティブランドに進出した企業のうち、未操業の企業に対し、早期の創業を働きかけるとともに、民間工業団地や工場跡地を活用するため、引き続き情報提供を行っていく。また、現に操業されている企業に対してもさらなる増資、2次投資に向けた支援を行っていく。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	船見くみ子	現状維持	地域の雇用機会の創出を図るため、引き続き立地予定企業の早期操業を促していく。